

事業活動温暖化対策計画書（特定大規模事業者用）

平成 23 年 7 月 28 日

神奈川県知事殿

郵便番号 330 - 0846

住 所 埼玉県さいたま市大宮区大門町3-105やすなビル2階

氏 名 株式会社 ハイデイ日高
代表取締役社長 高橋 均



神奈川県地球温暖化対策推進条例第11条第1項の規定により、次のとおり提出します。

1 事業者の名称等

事業者の氏名又は名称及び法人にあっては、代表者の氏名		株式会社 ハイデイ日高 代表取締役社長 高橋 均	
事業者の住所又は主たる事務所の所在地		埼玉県さいたま市大宮区大門町3-105 やすなビル2階	
特定大規模事業者の区分	<input checked="" type="checkbox"/>	年度当たりの原油換算エネルギー使用量が1,500k1以上の事業者（神奈川県地球温暖化対策推進条例施行規則（以下「規則」という。）第2条第1号該当の事業者）	原油換算エネルギー使用量の合計 1,519 k1 うち 497 k1
	<input type="checkbox"/>	連鎖化事業者のうち、年度当たりの原油換算エネルギー使用量が1,500k1以上の事業者（規則第2条第2号該当の事業者）	k1 うち k1
	<input type="checkbox"/>	対象自動車を100台以上使用する事業者（規則第2条第3号該当の事業者）	使用台数 台 うち 台
主たる事業の業種	大 分 類	<input type="checkbox"/> A 農業, 林業 <input type="checkbox"/> B 漁業 <input type="checkbox"/> C 鉱業, 採石業, 砂利採取業 <input type="checkbox"/> D 建設業 <input type="checkbox"/> E 製造業 <input type="checkbox"/> F 電気・ガス・熱供給・水道業 <input type="checkbox"/> G 情報通信業 <input type="checkbox"/> H 運輸業, 郵便業 <input type="checkbox"/> I 卸売業, 小売業 <input type="checkbox"/> J 金融業, 保険業 <input type="checkbox"/> K 不動産業, 物品賃貸業 <input type="checkbox"/> L 学術研究, 専門・技術サービス業 <input checked="" type="checkbox"/> M 宿泊業, 飲食サービス業 <input type="checkbox"/> N 生活関連サービス業, 娯楽業 <input type="checkbox"/> O 教育, 学習支援業 <input type="checkbox"/> P 医療, 福祉 <input type="checkbox"/> Q 複合サービス事業 <input type="checkbox"/> R サービス業（他に分類されないもの） <input type="checkbox"/> S 公務（他に分類されるものを除く）	
	中 分 類	M 76 飲食店	
連 絡 先	部 署 名 店舗開発部設計施工管理室 電 話 番 号 048 - 644 - 3231 F A X 番 号 048 - 640 - 6114 電子メールアドレス oono@hiday.co.jp		

※受付欄		※特記欄	
------	--	------	--

(第2面)

2 計画期間

23 年度 ～ 25 年度

3 事業活動に伴う温室効果ガスの排出の削減を図るための基本方針

*地球環境の負荷を減らした店作りを推進し社会に貢献する

(第3面)

4 エネルギー起源二酸化炭素の排出の削減の目標等 (規則第2条第1号又は第2号該当の事業者)

県内に設置しているすべての工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出の削減の目標等	基準年度	22 年度 (年度～ 年度)				
	基準排出量の合計量	(実) 2,540 (調) 2,320	tCO ₂	最終年度における排出量の合計量	(実) 2,464 (調) 2,259	tCO ₂
	目標削減率	(実) 3.00 (調) 2.65	%			
	原単位の指標の種類	床面積×営業時間		排出量原単位の単位	tCO ₂ / 千m ² ・千時間	
県内に設置しているすべての工場等における排出量原単位によるエネルギー起源二酸化炭素の排出の削減の目標等	基準年度における排出量原単位	(実) 4.72 (調) 4.31	tCO ₂ /千m ² ・千時間	最終年度における排出量原単位	(実) 4.57 (調) 4.20	tCO ₂ /千m ² ・千時間
	目標削減率	(実) 3.00 (調) 2.65	%			
	生産数量又は建物延床面積以外の値を原単位の指標として使用する場合には、その理由	飲食店では、営業時間に比例して排出量が増えるので床面積と営業時間を原単位の指標とした。				
	エネルギー起源二酸化炭素の排出の削減の目標の設定に関する説明	弊社では、2009年から国の補助金を得て全店舗にエネルギー計測装置を取り付けてきた。電気・ガスの使用量をリアルタイムで計測することで、具体的な省エネ技術の導入が可能になっている。また社内にエネルギー使用量を公表して、従業員の節電意識の向上に役立っている。				

設置しているすべての工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出の削減の目標等	工場等における排出量	基準排出量の合計量	(実) tCO ₂ (調)	最終年度における排出量の合計量	(実) tCO ₂ (調)	
		目標削減率	(実) % (調)			
	工場等における排出量原単位	原単位の指標の種類			排出量原単位の単位	
		基準年度における排出量原単位	(実) tCO ₂ (調)	最終年度における排出量原単位	(実) tCO ₂ (調)	
	目標削減率	(実) % (調)				

(第4面)

5 エネルギー起源二酸化炭素の排出の削減の目標等 (規則第2条第3号該当の事業者)

県内で使用しているすべての対象自動車 のエネルギー起源二酸化炭素の排出の削減の目標等	基準年度 (年度～年度)	年度		最終年度における排出量の合計量	tCO ₂
	基準排出量の合計量	tCO ₂			
	目標削減率	%			
県内で使用しているすべての対象自動車の排出量原単位によるエネルギー起源二酸化炭素の排出の削減の目標等	原単位の指標の種類			排出量原単位の単位	
	基準年度における排出量原単位			最終年度における排出量原単位	
	目標削減率	%			
	走行距離又は輸送量以外の値を原単位の指標として使用する場合には、その理由				
エネルギー起源二酸化炭素の排出の削減の目標の設定に関する説明					
対象自動車の使用状況	使用台数		割合		
	総数		台		
	うち電気自動車		台	%	
	うち天然ガス自動車		台	%	
	うちハイブリッド自動車		台	%	
	うちディーゼル代替LPガス自動車		台	%	
使用しているすべての自動車におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出の削減の目標等	自動車における排出量	基準排出量の合計量	tCO ₂	最終年度における排出量の合計量	tCO ₂
		目標削減率	%		
自動車におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出の削減の目標等	原単位の指標の種類			排出量原単位の単位	
	自動車における排出量原単位	基準年度における排出量原単位		最終年度における排出量原単位	
	目標削減率	%			

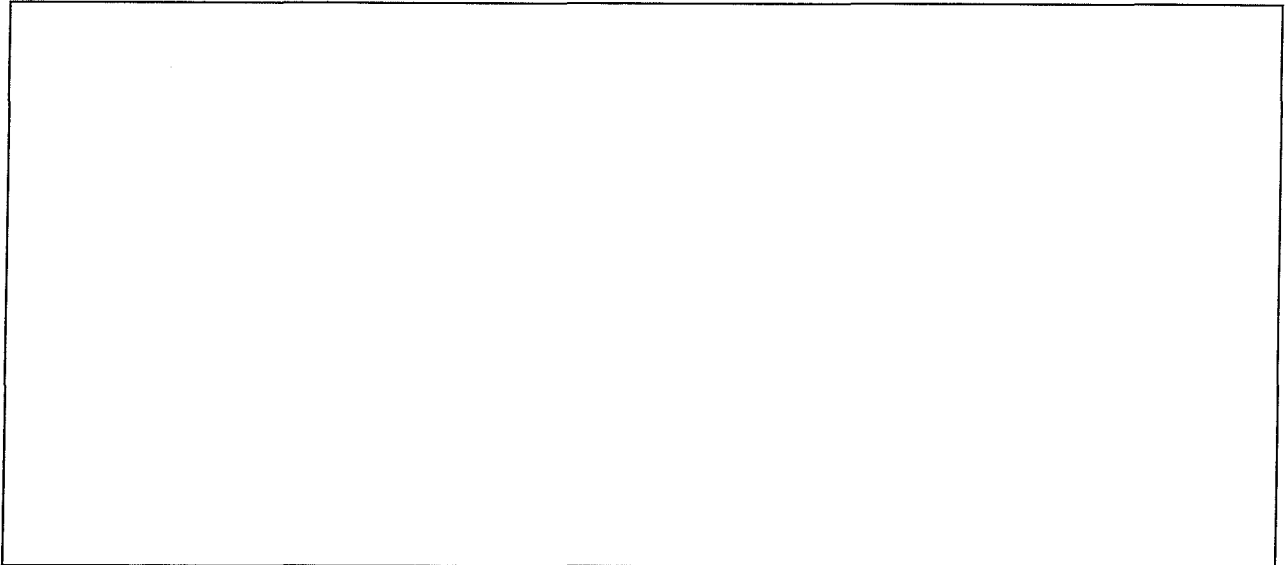
(第5面)

6 エネルギー起源二酸化炭素の排出の削減の目標を達成するための措置の内容

<p>工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出の削減の目標を達成するための具体的な措置 (規則第2条第1号又は第2号該当の事業者)</p>	<p>1105 エネルギー使用量の管理 エネルギー計測装置を全店舗に設置してリアルタイムで監視する。 1201 空気調和設備対策 空調機の清掃を年1回、フィルター清掃を2か月に1回実施する。 1401 照明設備対策 人感センサーとLEDを取り入れた照明プランを計画する。</p>
<p>対象自動車のエネルギー起源二酸化炭素の排出の削減の目標を達成するための具体的な措置 (規則第2条第3号該当の事業者)</p>	
<p>新エネルギー等の導入その他の具体的な措置</p>	<p>平成24年着工の、セントラルキッチンに太陽光発電、太陽熱利用、都市ガスコージェネレーションの導入を検討している。</p>

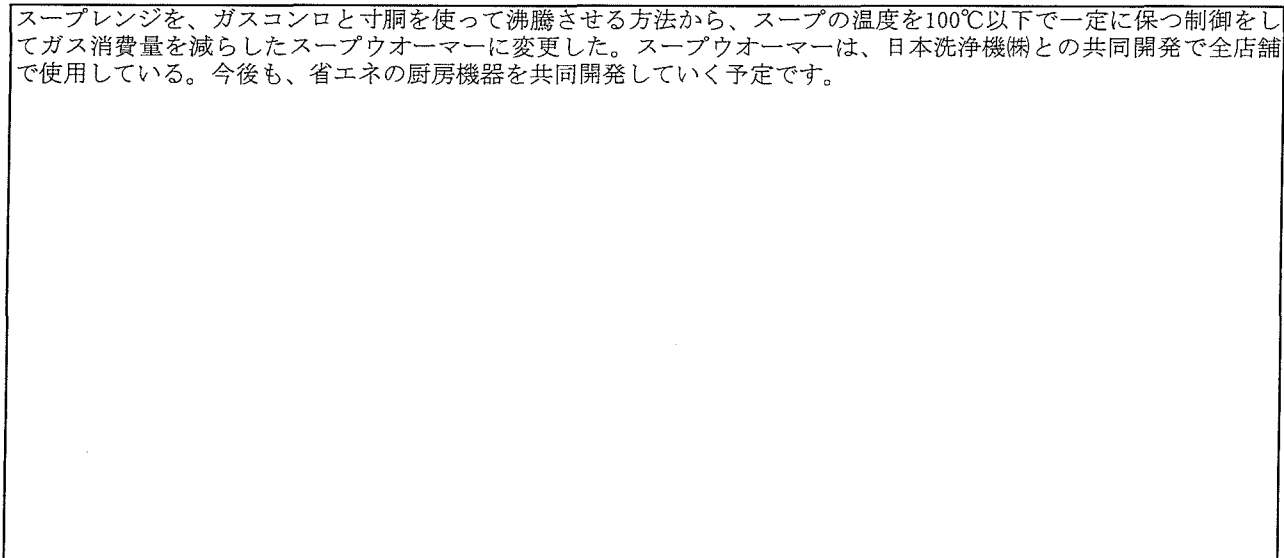
(第6面)

7 地域の地球温暖化対策の推進への貢献



8 温室効果ガスの排出の抑制に寄与する製品の開発その他の温室効果ガスの排出の抑制等に関する取組

スープレンジを、ガスコンロと寸胴を使って沸騰させる方法から、スープの温度を100℃以下で一定に保つ制御をしてガス消費量を減らしたスープウオーマーに変更した。スープウオーマーは、日本洗浄機㈱との共同開発で全店舗で使用している。今後も、省エネの厨房機器を共同開発していく予定です。



(第8面)
(個別票)

11 エネルギー管理指定工場ごとのエネルギー起源二酸化炭素の排出の削減の目標及び当該目標を達成するための措置の内容

(1) 工場等の名称等

工場等の名称	
工場等の所在地	
工場等の規模	建築物の延べ面積 m²
連絡先	部署名 電話番号 — — FAX番号 — — 電子メールアドレス

(2) 工場等のエネルギー起源二酸化炭素の排出の削減の目標等

工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出の削減の目標等	基準排出量 (実)	tCO ₂	最終年度における排出量 (実)	tCO ₂
	目標削減率 (実)	%		
工場等における排出量原単位によるエネルギー起源二酸化炭素の排出の削減の目標等	原単位の指標の種類		排出量原単位の単位	
	基準年度における排出量原単位 (実)		最終年度における排出量原単位 (実)	
	目標削減率 (実)	%		
エネルギー起源二酸化炭素の排出の削減の目標等	生産数量又は建物延床面積以外の値を原単位の指標として使用する場合にあっては、その理由			
エネルギー起源二酸化炭素の排出の削減の目標の設定に関する説明				

(3) 工場等のエネルギー起源二酸化炭素の排出の削減の目標を達成するための措置の内容

対策の区分		対策の内容
番号	名称	
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

- 備考
- ※印の欄は、記入しないでください。
 - のある欄には、該当する□内にレ印又は■を付してください。
 - 第1面の1の「主たる事業の業種」の欄には統計法第二十八条及び附則第三条の規定に基づき、産業に関する分類の名称及び分類表を定める件（平成21年総務省告示第175号）に定める日本標準産業分類の大分類及び中分類を、第7面の9及び10の「日本標準産業分類における細分類番号」の欄には日本標準産業分類の細分類番号を記入してください。
 - 第2面の3の欄には、計画書を作成するに当たっての基本的な考え方を記入してください。
 - 第5面の6の欄には、エネルギー起源二酸化炭素の削減の目標を達成するための事業者の対策を具体的に記載することとし、記載しきれないときは、この様式の例により作成した書面に記載して、その書面を添付してください。
 - 第6面の7の欄には、中小企業への省エネルギー技術の普及・移転、環境教育の実施、森林の保全・緑化の推進などの分野をはじめとする具体的な取組を記載してください。
 - 氏名を本人が自筆で記入したときは、押印を省略することができます。
 - 規則第2条第1号又は第2号該当の事業者にあつては、総括票及び個別票を作成した工場等ごとに、エネルギー起源二酸化炭素排出量の算定の根拠を明らかにする書類を添付してください。また、個別票には、使用している設備の管理状況及び排出の削減の目標を達成するための具体的な措置の内容を確認できる書類を添付してください。
 - 規則第2条第3号該当の事業者にあつては、エネルギー起源二酸化炭素排出量の算定の根拠を明らかにする書類並びに使用している対象自動車の管理状況及び排出の削減の目標を達成するための具体的な措置の内容が確認できる書類を添付してください。

全体

別紙1 エネルギー起源二酸化炭素排出量計算表

							計画期間の初年度 平成23年度用				
エネルギーの種類		エネルギー使用量			販売されたエネルギーの量			二酸化炭素排出量 (t-CO2)			
		数値 A	単位	熱量A(GJ)	数値 B	単位	熱量B(GJ)	熱量A-熱量B(※1)	(実排出係数) (調整後排出係数)		
燃料	原油(コンデンセートを除く。)		kl	0		kl	0	0	0		
	原油のうちコンデンセート(NGL)		kl	0		kl	0	0	0		
	揮発油(ガソリン)		kl	0		kl	0	0	0		
	ナフサ		kl	0		kl	0	0	0		
	灯油		kl	0		kl	0	0	0		
	軽油		kl	0		kl	0	0	0		
	A重油		kl	0		kl	0	0	0		
	B・C重油		kl	0		kl	0	0	0		
	石油アスファルト		t	0		t	0	0	0		
	石油コークス		t	0		t	0	0	0		
	石油ガス	液化石油ガス(LPG)	37	t	1,880		t	0	1,880	111	111
		石油系炭化水素ガス		千m ³	0		千m ³	0	0	0	0
	可燃性天然ガス	液化天然ガス(LNG)		t	0		t	0	0	0	0
		その他可燃性天然ガス		千m ³	0		千m ³	0	0	0	0
	石炭	原料炭		t	0		t	0	0	0	0
		一般炭		t	0		t	0	0	0	0
		無煙炭		t	0		t	0	0	0	0
	石炭コークス		t	0		t	0	0	0	0	
	コールタール		t	0		t	0	0	0	0	
	コークス炉ガス		千m ³	0		千m ³	0	0	0	0	
	高炉ガス		千m ³	0		千m ³	0	0	0	0	
転炉ガス		千m ³	0		千m ³	0	0	0	0		
都市ガス	45.0	454	千m ³	20,430		千m ³	0	20,430	1,019	1,019	
小計				22,310			0	22,310	1,130	1,130	
熱	産業用蒸気		GJ	0		GJ	0	0	0	0	
	産業用以外の蒸気		GJ	0		GJ	0	0	0	0	
	温水		GJ	0		GJ	0	0	0	0	
	冷水		GJ	0		GJ	0	0	0	0	
	小計	0	GJ	0	0	GJ	0	0	0	0	
電気	一般電気事業者	昼間買電	3,666	千kWh	36,550		千kWh	36,550	1,408	1,188	
		夜間買電		千kWh	0		千kWh	0	0	0	
	その他	上記以外の買電		千kWh	0		千kWh	0	0	0	
		上記以外の買電		千kWh	0		千kWh	0	0	0	
		自家発電		千kWh			千kWh				
小計			36,550					1,408	1,188		
原油換算エネルギー使用量		1,519	kl	合計			2,538	2,318	tCO ₂		
合計二酸化炭素発生量(有効数字処理後)							2,540	2,320	tCO ₂		

※1 熱については、数値A-数値B

※2 自家発電について、販売されたものがある場合は、販売された電力に係わる二酸化炭素排出量に、-1を乗じた数値を「二酸化炭素排出量」欄に記入する。

横浜市

別紙1 エネルギー起源二酸化炭素排出量計算表

計画期間の初年度 平成23年度用

エネルギーの種類	エネルギー使用量			販売されたエネルギーの量			熱量A-熱量B(※1)	二酸化炭素排出量 (t-CO2)			
	数値 A	単位	熱量A(GJ)	数値 B	単位	熱量B(GJ)		(実排出係数)	(調整後排出係数)		
燃料	原油(コンデンセートを除く。)		kl	0		kl	0	0	0		
	原油のうちコンデンセート(NGL)		kl	0		kl	0	0	0		
	揮発油(ガソリン)		kl	0		kl	0	0	0		
	ナフサ		kl	0		kl	0	0	0		
	灯油		kl	0		kl	0	0	0		
	軽油		kl	0		kl	0	0	0		
	A重油		kl	0		kl	0	0	0		
	B・C重油		kl	0		kl	0	0	0		
	石油アスファルト		t	0		t	0	0	0		
	石油コークス		t	0		t	0	0	0		
	石油ガス	液化石油ガス(LPG)	37	t	1,880		t	0	1,880	111	111
		石油系炭化水素ガス		千m³	0		千m³	0	0	0	0
	可燃性天然ガス	液化天然ガス(LNG)		t	0		t	0	0	0	0
		その他可燃性天然ガス		千m³	0		千m³	0	0	0	0
	石炭	原料炭		t	0		t	0	0	0	0
		一般炭		t	0		t	0	0	0	0
		無煙炭		t	0		t	0	0	0	0
	石炭コークス		t	0		t	0	0	0	0	
	コールタール		t	0		t	0	0	0	0	
	コークス炉ガス		千m³	0		千m³	0	0	0	0	
高炉ガス		千m³	0		千m³	0	0	0	0		
転炉ガス		千m³	0		千m³	0	0	0	0		
都市ガス	45.0	194	千m³	8,730		千m³	0	8,730	435	435	
小計				10,610			0	10,610	546	546	
熱	産業用蒸気		GJ	0		GJ	0	0	0	0	
	産業用以外の蒸気		GJ	0		GJ	0	0	0	0	
	温水		GJ	0		GJ	0	0	0	0	
	冷水		GJ	0		GJ	0	0	0	0	
	小計		0	GJ	0	0	GJ	0	0	0	0
電気	一般電気事業者	昼間買電	1,630	千kWh	16,251		千kWh	16,251	626	528	
		夜間買電		千kWh	0		千kWh	0	0	0	0
	その他	上記以外の買電		千kWh	0		千kWh	0	0	0	0
		上記以外の買電		千kWh	0		千kWh	0	0	0	0
		自家発電		千kWh			千kWh				
小計				16,251				626	528		
原油換算エネルギー使用量				693 kl	合計			1,172	1,074	tCO ₂	
合計二酸化炭素発生量(有効数字処理後)								1,170	1,070	tCO ₂	

※1 熱については、数値A-数値B

※2 自家発電について、販売されたものがある場合は、販売された電力に係わる二酸化炭素排出量に、-1を乗じた数値を「二酸化炭素排出量」欄に記入する。

川崎市

別紙1 エネルギー起源二酸化炭素排出量計算表

エネルギーの種類		エネルギー使用量			販売されたエネルギーの量			計画期間の初年度 平成23年度用			
		数値 A	単位	熱量A(GJ)	数値 B	単位	熱量B(GJ)	熱量A-熱 量B(※1)	二酸化炭素排出量 (t-CO2)		
									(実排出係数)	(調整後排出係数)	
燃料	原油(コンデンセートを除く。)		kl	0		kl	0	0	0	0	
	原油のうちコンデンセート(NGL)		kl	0		kl	0	0	0	0	
	揮発油(ガソリン)		kl	0		kl	0	0	0	0	
	ナフサ		kl	0		kl	0	0	0	0	
	灯油		kl	0		kl	0	0	0	0	
	軽油		kl	0		kl	0	0	0	0	
	A重油		kl	0		kl	0	0	0	0	
	B・C重油		kl	0		kl	0	0	0	0	
	石油アスファルト		t	0		t	0	0	0	0	
	石油コークス		t	0		t	0	0	0	0	
	石油ガス	液化石油ガス(LPG)	0	t	0		t	0	0	0	0
		石油系炭化水素ガス		千m ³	0		千m ³	0	0	0	0
	可燃性天然ガス	液化天然ガス(LNG)		t	0		t	0	0	0	0
		その他可燃性天然ガス		千m ³	0		千m ³	0	0	0	0
	石炭	原料炭		t	0		t	0	0	0	0
		一般炭		t	0		t	0	0	0	0
		無煙炭		t	0		t	0	0	0	0
	石炭コークス		t	0		t	0	0	0	0	
	コールタール		t	0		t	0	0	0	0	
	コークス炉ガス		千m ³	0		千m ³	0	0	0	0	
	高炉ガス		千m ³	0		千m ³	0	0	0	0	
	転炉ガス		千m ³	0		千m ³	0	0	0	0	
	都市ガス	45.0	97	千m ³	4,365		千m ³	0	4,365	218	218
小計				4,365			0	4,365	218	218	
熱	産業用蒸気		GJ	0		GJ	0	0	0	0	
	産業用以外の蒸気		GJ	0		GJ	0	0	0	0	
	温水		GJ	0		GJ	0	0	0	0	
	冷水		GJ	0		GJ	0	0	0	0	
	小計		0	GJ	0	0	GJ	0	0	0	0
電気	一般電気事業者	昼間買電	844	千kWh	8,415		千kWh	8,415	324	273	
		夜間買電		千kWh	0		千kWh	0	0	0	0
	その他	上記以外の買電		千kWh	0		千kWh	0	0	0	0
		上記以外の買電		千kWh	0		千kWh	0	0	0	0
		自家発電		千kWh			千kWh				
小計				8,415				324	273		
原油換算エネルギー使用量				330 kl	合計			542	491	tCO ₂	
合計二酸化炭素発生量(有効数字処理後)								542	491	tCO ₂	

※1 熱については、数値A-数値B

※2 自家発電について、販売されたものがある場合は、販売された電力に係わる二酸化炭素排出量に、-1を乗じた数値を「二酸化炭素排出量」欄に記入する。

その他

別紙1 エネルギー起源二酸化炭素排出量計算表

計画期間の初年度 平成23年度用

エネルギーの種類	エネルギー使用量			販売されたエネルギーの量			熱量A-熱量B(※1)	二酸化炭素排出量 (t-CO2)	
	数値 A	単位	熱量A(GJ)	数値 B	単位	熱量B(GJ)		(実排出係数)	(調整後排出係数)
原油(コンデンセートを除く。)		kl	0		kl	0	0	0	0
原油のうちコンデンセート(NGL)		kl	0		kl	0	0	0	0
揮発油(ガソリン)		kl	0		kl	0	0	0	0
ナフサ		kl	0		kl	0	0	0	0
灯油		kl	0		kl	0	0	0	0
軽油		kl	0		kl	0	0	0	0
A重油		kl	0		kl	0	0	0	0
B・C重油		kl	0		kl	0	0	0	0
石油アスファルト		t	0		t	0	0	0	0
石油コークス		t	0		t	0	0	0	0
石油ガス	液化石油ガス(LPG)	0	t	0	t	0	0	0	0
	石油系炭化水素ガス		千m ³	0	千m ³	0	0	0	0
可燃性天然ガス	液化天然ガス(LNG)		t	0	t	0	0	0	0
	その他可燃性天然ガス		千m ³	0	千m ³	0	0	0	0
石炭	原料炭		t	0	t	0	0	0	0
	一般炭		t	0	t	0	0	0	0
	無煙炭		t	0	t	0	0	0	0
石炭コークス		t	0	t	0	0	0	0	
コールタール		t	0	t	0	0	0	0	
コークス炉ガス		千m ³	0	千m ³	0	0	0	0	
高炉ガス		千m ³	0	千m ³	0	0	0	0	
転炉ガス		千m ³	0	千m ³	0	0	0	0	
都市ガス	45.0	164	千m ³	7,380	千m ³	0	7,380	368	368
小計			7,380			0	7,380	368	368
熱	産業用蒸気		GJ	0	GJ	0	0	0	0
	産業用以外の蒸気		GJ	0	GJ	0	0	0	0
	温水		GJ	0	GJ	0	0	0	0
	冷水		GJ	0	GJ	0	0	0	0
	小計	0	GJ	0	0	GJ	0	0	0
電気	一般電気事業者	昼間買電	1,192	千kWh	11,884	千kWh	11,884	458	386
		夜間買電		千kWh	0	千kWh	0	0	0
	その他	上記以外の買電		千kWh	0	千kWh	0	0	0
		上記以外の買電		千kWh	0	千kWh	0	0	0
		自家発電		千kWh		千kWh			
小計			11,884				458	386	
原油換算エネルギー使用量			497 kl	合計			826	754	tCO ₂
合計二酸化炭素発生量(有効数字処理後)							826	754	tCO ₂

※1 熱については、数値A-数値B

※2 自家発電について、販売されたものがある場合は、販売された電力に係わる二酸化炭素排出量に、-1を乗じた数値を「二酸化炭素排出量」欄に記入する。